

平成20年度 事業実施概要

～みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり～

基本目標Ⅰ 地域福祉の理解を広げよう

ボランティア・市民活動センター開設20周年にあたる本年度は、市民がボランティア活動へ関心を持ち、ボランティア活動への参加が一層進むよう「ボランティアのつどい」をはじめとする各種記念行事を開催しました。

認知症サポーター養成事業では、平成21年度までに2万人のサポーターの養成を目指し、住民団体や企業、学校などに積極的に働きかけを行うとともに、「認知症サポーター活動報告会」を開催することで、市民への認知症の啓発と理解を広げていきました。

子どもたちが地域福祉活動へ参加する機会づくりとしては、次世代地域福祉活動者育成事業（ウェルクラブ活動）のなかで、「わくわく子育てフォーラム北九州『次世代地域福祉活動者育成事業』フォーラム」を開催し、各校区の福祉体験活動を紹介することで、全市的な普及を目指しました。

また、市民に対する社会福祉協議会活動の理解のため、ホームページを活用した迅速な情報提供や、「市社協だより」による福祉情報の提供に努めています。

目標達成のための取り組み

1 広報・啓発の強化

(1) 広報紙の充実と役割分担

- ・ 「市社協だより」の発行
(発行回数・部数：年4回、160,000部) <振興課・研修課>
- ・ マスメディア等の積極的活用
(テレビ6回、新聞掲載7回、他団体機関紙等4回) <地域福祉課>
- ・ 「ボランティア・市民活動センターだより」の発行
(1回、3,000部) <活動推進課>
- ・ 研修パンフレットの発行(年1回、3,000部) <研修課>
- ・ 広報紙「周望」・「穴生」、啓発用冊子「学舎案内」発行
(発行回数12回、延べ発行部数16,600部) <周望・穴生>
- ・ 年長者研修大学校及び高齢者ボランティアの市民啓発
(新聞、市政だより等への掲載、テレビ放映等、延べ66回) <周望・穴生>

- (2) 出前講演活動等の効果的推進
- ・ 関係機関・団体と協力した出前講演活動の実施
(48回、参加者数 1,658人) <地域福祉課>
 - ・ 市民を対象とした地域福祉権利擁護事業についての出前講演の実施
(年長者研修大学校への出前講演 13回、受講者 403人)
(校(地)区社協等への出前講演 3回、受講者 120人) <権利擁護>
- (3) ホームページ掲載情報の整理と充実
- ・ ホームページでの情報提供 (アクセス件数 : 69,067件) <総務課>
 - ・ 高齢者サークル参加促進事業による福祉情報の提供
(アクセス件数 : 5,804件) <振興課>
 - ・ ふれあいネットワーク事業等小地域福祉活動の紹介 <地域福祉課>
 - ・ 年長者研修大学校ホームページによる福祉関連情報の収集・発信
(アクセス件数、19,204件) <周望・穴生・ドーム>
- (4) 市民参加型啓発事業の推進
- (新)・ ボランティア・市民活動センター創設 20周年記念「ボランティアのつどい」の開催 (11月16日、4,361人) <活動推進課>
 - (新)・ 認知症の人と歩く戸畑のまち事業 (11月21日、41人) <地域福祉課>
 - (新)・ 児童養護施設の子どもたちとボランティアのハートフルランチ
(11月22日、150人) <振興課>
 - ・ 年長者研修大学校オープンカレッジ・コースの開催
(体験入学、一日体験講座の開講 9回、延べ 206人) <周望・穴生>
- (5) 各種事業を通じた広報啓発の取り組み
- ・ 収益事業を通じた広報・啓発 (まちづくりクッキー等の販売) <振興課>
 - ・ 生活福祉資金貸付制度の周知・広報 <振興課>
 - ・ 北九州市認知症サポーター養成事業の実施 (養成講座 152回、サポーター登録 4,350人、登録累計 14,891人) <地域福祉課>
 - (新)・ 認知症サポーター活動報告会の実施(1回、757人)
(表彰選考委員会の開催 8月20日)
(活動体験談応募総数 74件、表彰 2団体・個人 4人) <地域福祉課>
 - ・ 各種関連会議等を通じた高齢者見守りサポーター派遣事業の広報
(138回、8,547人) <生活福祉課>
 - ・ 認知症サポーター養成講座の広報
(62回、4,292人、広報紙 2回、ホームページ 2回) <地域福祉課>
 - ・ 社協活動PR用Tシャツ、エプロンを活用した啓発
(Tシャツ 675枚、エプロン 166枚販売) <地域福祉課>
 - ・ 「もりフォーラム」実行委員会への参画
(実行委員会 4回参加) <地域福祉課>

- ・ 「ふれあいフェスタ2008」への参加 <地域福祉課>
- ・ 市民講演会の実施（2回、2日、200人） <研修課>
- ・ 市民講座の実施（2回、2日、85人） <研修課>
- ・ ボランティアフェスタ in 八幡西（3月22日、102人） <研修課>
- ・ ボランティア市民講座の実施（3回、17日、85人） <研修課>
- ・ 年長者研修大学校・穴生ドームの公開講座や作品展、各種行事等への市民参加による啓発活動の強化（248回、15,115人） <周望・穴生>
- ・ ホームレス問題に関する啓発活動 <ホームレス自立支援センター>
- ・ ウェルとばた入居団体と、戸畑駅、福岡銀行、戸畑サティとの協力による街づくり美化運動の実施（10月実施、120人参加） <施設部>

2 福祉教育の推進

(1) 体験型福祉教育の推進

- ・ 学校、社会福祉施設、企業等と連携した次世代地域福祉活動者育成事業（ウェルクラブ活動）の実施（21地区、参加児童数316人） <地域福祉課>
- ・ ウェルクラブ活動による高齢者疑似体験や福祉施設との交流など体験型福祉教育の推進（15地区、参加児童数276人） <地域福祉課>
- (新)・ わくわく子育てフォーラム北九州「次世代地域福祉活動者育成事業（ウェルクラブ）フォーラムの開催（1回、135人） <地域福祉課>
- ・ 中高生・親子ボランティア体験の実施
(2コース、参加者数816人) <活動推進課>
- ・ 高校生介護等特別事業の実施（5日間、28人） <活動推進課>
- ・ 異世代に対する伝承活動、世代間ふれあい交流授業の実施
(年長者と孫のつどい等 11回、695人) <周望・穴生>
- ・ 年長者研修大学校全研修生に対する福祉授業の実施
(216回、6,184人) <周望・穴生>
- ・ 2008夏ボランティア体験学習の実施
(7月29日～8月29日 各3日間、816人) <活動推進課>

(2) 社会福祉協力校指定事業の充実

- ・ 社会福祉協力校事業の指定
(指定校総数58校 20年度新規指定：小学校7校、中学校3校)
<活動推進課>
- ・ 福祉教育セミナーの実施（1回、1日間、36人） <活動推進課>

(3) 各機関が実施する福祉教育の調整

- ・ 社会福祉士資格取得予定者の「社会福祉援助技術現場実習」の受入
(12日間、受入人数計7人) <総務課>

3 地域福祉人材の育成

(1) 社会福祉ボランティア大学校、年長者研修大学校などをはじめとする社会福祉協議会が持つ研修機能の充実

① 社会福祉ボランティア大学校の研修機能の充実

- ・ 市民講演会の実施 (2回、2日、200人) <研修課>
- ・ 市民講座の実施 (2回、2日、85人) <研修課>
- ・ ボランティア活動者スキルアップ研修 (2回、4日、38人) <研修課>
- ・ 地域活動者研修 (15回、22日、806人) <研修課>
- ・ 地域活動支援者研修 (8回、15日、440人) <研修課>
- ・ 福祉有償運送運転協力者研修 (4回、6日、127人) <研修課>
- ・ 腕自慢ボランティア養成講座 (3月6日、32人) <活動推進課>
- ・ ボランティア活動者スキルアップ研修の開催

(2回、4日、38人) <研修課>

- ・ 社会福祉主事資格認定講習会の開催 (1回、53日、78人) <研修課>

(新) ・ いのちをつなぐネットワーク担当係長研修

(1回、50日、16人) <研修課>

- ・ その他研修の実施 (共催/企画支援) (51回、55日、403人) <研修課>
- ・ 研修効果測定内容の再検討 (講座アンケート追跡調査) <研修課>
- ・ 研修、講座のバリアフリー化に向けた検討 (託児実施1回、4人)

<研修課>

- ・ 地域やボランティア活動団体への研修企画の支援 (ビデオの貸出34回、71本、研修講座に関する相談受付件数43件) <研修課>

② 年長者研修大学校修了生等の地域活動・ボランティア活動への参加意欲増進

(新) ・ 社会貢献型「市民後見人」養成研修の実施

<権利擁護>

(フォローアップ実務研修32人、公開講座62人)

(第2期生 基礎研修受講者18人、6日間)

- ・ 地域活動コーディネーターの配置による高齢者の地域活動支援強化 (需給調整124件、各種ボランティアの募集12件、同窓会本部・支部との連携活動2件、活動体験の調整、地域との需給調整544件) <周望・穴生>
- ・ 修了生の「ボランティア指導員」への登用 (7人) <周望・穴生>
- ・ 福祉ボランティアとしてシルバーバンクに加入 (17人) <周望>
- ・ 地域に穴生ドームテストを普及する健康ボランティアへの登録 (25人) <穴生>
- ・ 年間コース及び短期講座で研修生・ボランティアによる指導 (52回) <周望・穴生>
- ・ 在校生、修了生ボランティアによる子育て支援事業の実施 (87回、2,821人) <周望・穴生>

- (新)・ パソコンボランティアを育成し (8人登録)、短期パソコン講座や体験入学の指導補助と新聞瓦版編集・作成などで情報収集・発信活動の実施
(67回、96人) <周望>
 - ・ 年長者研修大学校全研修生による定期的なボランティア活動の実践
(57コース、72回、2,301人) <周望、穴生>
 - ・ 高齢者の社会参加を図るための研修事業の充実
(95コース、1,527回、45,975人) <周望、穴生>
 - ・ 高齢者の地域福祉活動を促進するための市民センター見学の実施
(7コース、7回、172人) <周望、穴生>
 - ・ シルバーバンク及び高齢者ボランティアグループ活動の指導育成と支援
(38グループ、958人) <周望、穴生>
 - ・ 高齢者のための健康・体力づくり指導者研修及び健康ボランティア養成研修
(2回、394人) <穴生・ドーム>
 - ・ 団塊の世代及びヤングシニアを対象とした研修事業の実施
(2回、337人) <周望、穴生>
- ③ 研修参加者の実践支援
- (新)・ 民間社会福祉事業従事者および介護サービス従事者に対する研修
(メンタルヘルス研修：1回、153人) <振興課・人材バンク>
 - ・ 校(地)区社協個別研修支援事業の実施
(10地区、参加者数477人) <地域福祉課>
 - ・ 団塊世代及びヤングシニア世代(40～65歳)の社会参加促進を図るための研修事業の充実(再掲) <周望・穴生>
 - ・ 年長者研修大学校講座の一環とした福祉施設及び市民センターでの体験学習の実施(再掲) <周望・穴生>
 - ・ まちづくり活動者のための研修実施(16回、281人) <周望・穴生>
- (2) 地域福祉活動、ボランティア活動分野の講師等の開拓・育成
- ・ 高齢者の健康体力づくり指導者研修及び健康づくりボランティアの拡充
(再掲) <周望・穴生・ドーム>
- (新)・ 災害時福祉救援活動の体制づくり普及のための日本防災士会との連携
(校(地)区社協対象 1回、30人) <地域福祉課>
 - (新)・ キャラバンメイト新規養成研修(8月9日、34人) <地域福祉課>

基本目標Ⅱ 住民による身近な地域づくりを進めよう

多様化する地域の課題に対応していくため、北九州市が取り組む「いのちをつなぐネットワーク」と「ふれあいネットワーク事業」の連携を進めていくとともに、課題であった集合住宅対策で「マンション孤立死防止モデル事業」に取り組み、集合住宅に対する支援策や新しい仕組みづくりについて検討を行いました。

ボランティア・市民活動の支援では、ボランティア団体にとどまらず、NPO、地縁団体などとの連携を強化していくため、北九州市民サミット2008実行委員会へ参画し市民活動への支援を行いました。

災害時福祉救援活動の体制づくりでは、新規で5校(地)区社協をモデル地区指定し、災害時要援護者避難支援や福祉避難所の運営などを想定したワークショップに取り組むとともに、全市的な災害ボランティアセンター設置を想定した体制づくりも進めました。

さらに、ボランティアの協力による新たな子育て支援事業である「児童いきいきサロン応援団モデル事業」の準備段階として、児童館に対するアンケート調査を行い課題の整理に努めているところです。

目標達成のための取り組み

1 小地域福祉活動の活性化

(1) ふれあいネットワーク事業（共通事業、協働事業）の充実

(新)・ いのちをつなぐネットワークとの連携

(担当係長研修への参加2回、16人) <地域福祉課>

- ・ 校(地)区社協活動者交流会の開催

(1回、参加者数77人) <地域福祉課、研修課>

- ・ リフレッシュ&フレンドシップ事業の実施(視察:3回、参加者数159人
受入:1回、参加者数61人) <地域福祉課>
- ・ 実績に応じた活動費の助成

(共通事業154地区、協働事業136地区) <地域福祉課>

- ・ 協働事業の見直しに伴う実施要綱の改定及び様式変更 <地域福祉課>
- ・ ふれあいネットワーク事業協働事業のメニューの見直し <地域福祉課>
- ・ 地域福祉権利擁護事業利用者に対する地域住民を含めた支援ネットワークの充実

(校(地)区社協等への出前講演 3回、120人)(再掲)

(福祉協力員や民生委員への権利擁護関係研修の案内 2回) <権利擁護>

(2) 校(地)区社協活動の支援

- (新)・ 都市におけるマンション孤立死防止モデル事業～マンション管理組合との協働研究～ (検討委員会 5 回、アンケート 3 回) <地域福祉課>
- ・ 次世代地域福祉活動者育成事業(ウェルクラブ活動)の実施(再掲) <地域福祉課>
 - ・ 校(地)区社協個別研修支援事業の実施(再掲) <地域福祉課>
 - ・ ボランティア・NPO団体との連携促進(都市におけるマンション孤立死防止モデル事業でのマンション管理組合との協働研究)(再掲) <地域福祉課>
 - ・ 広報紙を通じた校(地)区社協活動の紹介(4回) <地域福祉課>
 - ・ 出前講演活動による健康と福祉の街づくり事業の普及
(1回、40人) <地域福祉課>
 - ・ 地域福祉活動者専門研修の開催(2回、76人) <研修課>

(3) 年長者研修大学校等修了者等の小地域福祉活動への結びつきの促進

- ・ 穴生学舎クッキングボランティアによる「ふれあいいきいきサロン」の実施
(22回、1,674人) <穴生>
- ・ 年長者研修大学校における子育て支援
(87回、2,821人) <周望・穴生・ドーム>
- ・ まちづくり活動者セミナーの実施(16回、281人) <周望・穴生>
- ・ 地域活動者のための実用パソコンコースの開設(83回、1,958人) <周望>
- ・ 地域活動コーディネーターの配置による高齢者の地域活動支援強化(再掲)
<周望・穴生>
- ・ 市民の健康づくり支援としてニュースポーツの出前体験事業と健康ウォーキングの実施(444回、21,496人) <ドーム>

(4) 子育て支援の充実

- ・ 次世代地域福祉活動者育成事業(ウェルクラブ活動)の実施(再掲)
<地域福祉課>

- (新)・ 子育てサポーターズモデル事業(43児童館にてニーズ調査実施)
<活動推進課>

2 ボランティア・市民活動の支援

(1) ボランティア・市民活動センター、各区ボランティアセンター機能の充実

- ① 市内のボランティア等支援機関との連携
- ・ ボランティア・NPO団体との連携・活動支援
(北九州市民サミット実行委員会への参加 4回) <活動推進課>
 - ・ ボランティア活動保険助成(22,502人、2,678千円) <活動推進課>
 - ・ ボランティア活動者育成のための各種ボランティア講座の開催(再掲)
<研修課>

- ② 区ボランティアセンターと市民センターの関係づくり
 - ・ 市民センターにおける活動者養成研修の実施（再掲） ＜研修課＞
- ③ ボランティアネットワークの構築
 - ・ 市・区ボランティア連絡組織の結成促進
（各区ボランティア連絡協議会への資金助成情報の提供等） ＜活動推進課＞
 - ・ 市・区ボランティアセンターコーディネーター連絡会の開催（6回）
＜活動推進課＞

(2) 年長者研修大学校機能の活用

- ・ 地域活動コーディネーターの配置による高齢者の地域活動支援強化（再掲）
＜周望・穴生＞
- ・ まちづくり活動者セミナーの実施（再掲） ＜周望・穴生＞

(3) サービス提供等を通じた活動機会の確保、提供

- ・ 独立法人福祉医療機構助成事業の実施
（助成団体数・金額：6団体、5,281千円）＜振興課＞
- ・ 「ウェルとばた」の管理運営事業を活用した、ボランティア活動の場や市民活動の発表の場の提供（24時間テレビ「愛は地球を救う」、四季のまつり等でのボランティア参加者200人） ＜施設部＞
- ・ シルバーひまわりサービス事業の実施
（ボランティア登録数921人、利用者登録数629人）＜活動推進課＞
- ・ 腕自慢おまかせサービス事業の実施
（ボランティア登録数249人、実施件数113件）＜活動推進課＞
- ・ 福祉有償運送運転協力者研修（4回、6日、127人）（再掲） ＜研修課＞
- ・ 年長者研修大学校修了生を「ボランティア指導員」に登用
（周望4人、穴生3人）＜周望・穴生＞

3 役割分担と協働の促進

- (1) 校(地)区社協活動とボランティア・NPO団体との連携・協働の仕組みづくり
 - ・ ボランティア・NPO団体との連携促進（都市におけるマンション孤立死防止モデル事業でのマンション管理組合との協働研究）（再掲）＜地域福祉課＞
 - ・ 関係機関・団体と協力した出前講演活動の実施（再掲） ＜地域福祉課＞
- (2) 校(地)区社協活動と学校との連携強化
 - ・ 次世代地域福祉活動者育成事業(ウェルクラブ活動)の実施(再掲) ＜地域福祉課＞
- (3) 校(地)区社協とまちづくり協議会の役割分担の明確化
 - ・ 役割分担と協働の促進のための小地域福祉活動の調査研究分析＜地域福祉課＞

4 災害時福祉救援活動の体制づくり

(1) 小地域単位の福祉救援体制づくり

- ・ 戸畑駅前防災相互応援協定による周辺地域の防災体制の充実・強化
(ウエルとばた入居団体の協力による年2回の防災訓練を実施
参加人数 312 人) <施設部>
- ・ 校(地)区社協を中心とした福祉救援体制づくりモデル地区支援の拡大
(継続4地区/新規5地区、ワークショップ等12回) <地域福祉課>
- ・ 障害者団体連絡協議会との連携
- ・ 北九州市災害時要援護者避難支援連絡調整会議への参画
(3回) <地域福祉課>
- ・ 公用車にAEDを搭載した巡回型まちかど救命士活動の実施<生活福祉課>
- ・ 年長者研修大学校研修生に対する防災意識の高揚と救急救命講習の実施
(20回、539人) <周望、穴生>
- ・ 年長者研修大学校指導員による事故防止のための「交通安全講習」の実施
(24回、403人) <周望>

(2) 災害ボランティアセンター設置を想定した仕組みづくり

- ・ 災害ボランティアコーディネーター養成研修開催(20人) <活動推進課>
- (新)・ 北九州市「防災訓練(緊急物資集配センター運営訓練)」への参加
(29人) <活動推進課>
- ・ 福岡県「災害ボランティアコーディネーター養成講座 I・II」をはじめとする関係研修・訓練への参加機会の提供 <活動推進課>

5 福祉等専門職の地域への参加、参画の推進

(1) 地域包括支援センターと社会福祉協議会の連携による専門職の参加の促進

- ・ 北九州市高齢者介護の質の向上委員会への参加(4回) <生活福祉課>
- ・ 地域包括支援センター、統括支援センターへの専門職の派遣
(社会福祉士8人、主任介護支援専門員3人、計11人) <生活福祉課>
- ・ 統括支援センターでの予防給付ケアマネジメント業務への専門職の派遣
(介護支援専門員10人) <生活福祉課>
- ・ 校(地)区社協個別研修支援事業での地域包括支援センターとの連携
(1回、46人) <地域福祉課>

(2) 校(地)区社協連絡調整会議等への専門職の参加の促進

- ・ 地域包括支援センター、統括支援センター等の新規採用専門職員へのふれあいネットワーク事業説明 <地域福祉課>

基本目標Ⅲ 関係機関・団体が手を結び、

福祉のネットワークをつくろう

北九州市地域福祉活動計画第三次計画の中間年にあたる本年度は、総合企画委員会を中心に実施計画を策定の点検・評価を行い、福祉のまちづくり実現のために後期2ヵ年の実施計画を策定しました。今後は関係機関との一層の連携による地域福祉活動の充実を目指しています。

地域福祉権利擁護事業では、在宅だけでなく施設入居者も対象として支援を進めてきましたが、従来から要望のあった入院患者への支援や、就労している障害者へのサービス提供のあり方についても検討を行ったところです。

また、北九州市福祉人材バンクでは急激な雇用状況の悪化を受けて、「福祉の職場 合同就職面談会 in 北九州」の開催に加えて、緊急雇用対策として介護職限定の「特別求人・求職面談会」等を開催し、失業者の就労支援と福祉人材の確保に努めました。

目標達成のための取り組み

1 福祉サービス事業者との連携・調整

(1) 専門研修の実施

- ・ 民間社会福祉事業従事者共済事務担当者会議
(年1回、77人参加) <振興課>
- ・ 民間社会福祉事業従事者および介護サービス従事者に対する研修
(メンタルヘルス研修: 1回、153人) (再掲) <振興課・人材バンク>
- ・ 福祉サービス事業者への地域福祉権利擁護事業説明会の実施
(7回、対象人数 373人) <権利擁護>

(2) 関連会議等への参加・参画や開催

- ・ 各種関連会議等を通じた高齢者見守りサポーター派遣事業の説明 (再掲)
<生活福祉課>
- ・ 北九州市災害時要援護者避難支援ワーキンググループ会議への参画
(3回) <地域福祉・振興課>
- ・ 社会福祉施設との連携による効果的かつ効率的な地域福祉権利擁護事業サービスの実施
(金銭管理サービス利用者の施設入所者 55施設 77人の内、31人)
<権利擁護>

(3) 福祉人材バンク機能の充実

- ・ 社会福祉施設等との情報交換による求人の開拓
(求人件数：682件、1,775人、就職者数：74人) <人材バンク>
- ・ 「福祉の職場合同就職面談会 in 北九州」の実施
(年2回開催、求人施設：90団体、求人件数：255件720人、
求職者376人 採用者15人) <人材バンク>
- (新)・ 市主催の「UIターン事業」に求人情報を提供 <人材バンク>
- ・ 「福祉の職場合同就職面談会」の実施
(年2回開催、加ハ-プ-ラザで福岡県福祉人材センターと共催) <人材バンク>
- (新)・ 「就職バックアップセミナー」の実施 (1回、参加者10人) <人材バンク>
- (新)・ 緊急雇用対策 福祉 介護分野への就業促進 特別相談窓口の開設
<人材バンク>
- (新)・ 緊急雇用対策 「介護限定、特別求人・求職面談会」開催 (市共催)
(1回 求人件数109件 参加者94人 採用者数7人) <人材バンク>
- (新)・ 緊急雇用対策 「再就職のための介護資格取得支援事業」
(1回 受講者20人) <人材バンク>

2 地域福祉関係団体との連携・調整

- (1) 子育て支援に関する保育所等機能の地域への周知
 - ・ 出前講演活動による子育て支援に関する保育所等機能の地域への周知
(1回、参加者数30人) <地域福祉課>
- (2) 精神保健福祉分野での連携と調整
 - ・ 北九州市自殺対策連絡会議への参画 (1回) <地域福祉課>
- (3) 社会福祉施設と地元校(地)区社協の連携促進
 - ・ ウェルクラブ活動による社会福祉施設と地元校(地)区社協の連携促進
(8地区、参加児童数179人) <地域福祉課>
- (4) PTAを含めた子育て関係機関・団体と民生委員・主任児童委員との連携
 - ・ 市・区民児協事務局との連携 <振興課>
- (5) 市民センターとの連携
 - ・ 高齢者地域交流支援通所事業の実施 <生活福祉課>
 - ・ 市民センターにおける活動者養成研修の実施(再掲) <研修課>
 - ・ 区ボランティアセンターと市民センターとの連携によるボランティア養成講座の開催(1区、参加者数19人) <研修課>
 - ・ 年長者研修大学校講座の一環とした福祉施設及び市民センターでの体験学習の実施と活動支援(再掲) <周望・穴生>

- (6) 民生委員児童委員との連携
- ・ 市民生委員児童委員事務局の運営
(会議：延べ27回、研修会：延べ5回) <振興課>
 - ・ 民生委員互助共励事業の実施
(弔慰金・見舞金等の支給、指定地区民児協事業の実施) <振興課>
- (7) 関連会議等への参加、参画や開催
- ・ 権利擁護関係機関の連携による被虐待者及び虐待者への援護体制づくり
(地域包括支援センターからあがった虐待相談 6件)
(統括支援センターからあがった虐待相談 7件) <権利擁護>
 - ・ 社会資源を活かした権利擁護事業各利用者の支援ネットワークの強化
(北九州市サービス利用計画作成費審査委員会への出席 10回)
(北九州市権利擁護推進会議への出席 2回)
(北九州市障害者施策推進協議会への出席 2回) <権利擁護>
 - ・ ホームレス自立支援団体との協働事業の推進
(北九州ホームレス支援機構への委託による巡回相談指導事業・生活相談指導・自立生活支援事業の実施) <ホームレス自立支援センター>
 - ・ ホームレス自立支援推進協議会でのホームレス問題解決に向けての検討
(ホームレス自立支援推進協議会の開催 4回、同幹事会の開催 5回)
<ホームレス自立支援センター>
 - ・ 福祉医療機構会議 (1回) <振興課>
 - ・ 宅建協会との意見交換会 (1回) <振興課>
 - ・ いのちをつなぐネットワーク推進会議 (1回) <地域福祉課>
 - ・ 福祉有償運送実施団体意見交換会の開催 (2回、各13人) <活動推進課>
 - ・ 朗読録音奉仕者感謝の集いへの参加 <総務課>
 - ・ 北九州市ボランティア顕彰委員会への参加 <総務課>
 - ・ 認知症啓発月間街頭啓発への参加 <地域福祉課>
- (8) 民間福祉活動の支援・連携
- ・ 各施設協議会への情報提供や行事への参画
(大都市施設協議会への参加) <振興課>
(関係省庁、全社協等の情報を社会福祉施設等へ提供) <振興課>
(保育所連盟行事、児童養護施設協議会行事等への参加) <振興課>
 - ・ 民間社会福祉施設従事者共済事業の実施
(186施設、3,814人加入) <振興課>
(共済事業担当者会議 77人、研修会 153人) <振興課>
 - ・ 寄付行為に伴う寄贈施設の斡旋
(11団体からの寄贈物品を、50施設・団体へ斡旋) <振興課>

- ・ 海外からの視察受入れ（仁川YMCA視察受入 5月29日、韓国三育大学視察研修 8月6日、仁川広域市社協視察受入 10月24日） <地域福祉課>

3 共同募金会との連携

- (1) 募金活動への協力体制強化
 - ・ 北九州市各区支会連絡協議会業務の遂行
(福岡県共同募金会配分委員会・推進委員会出席) <振興課>
- (2) 歳末見舞金の地域活動への有効活用
 - ・ 歳末たすけあい募金の地域支援事業への転換働きかけ <振興課>

4 調査・研究、提言

- (1) 新しい仕組みづくりに関する研究
 - (新)・ 都市におけるマンション孤立死防止モデル事業～マンション管理組合との協働研究～ <地域福祉課>
 - ・ 小地域福祉活動に関する調査研究 <地域福祉課>
 - (新)・ 就労する障害者の地域福祉権利擁護事業の利用支援のあり方についての検討 <権利擁護>
 - (新)・ 法人後見に関する調査 <権利擁護>
 - (新)・ 入院患者の対象範囲と、地域福祉権利擁護事業に関わる支援のあり方についての検討 <権利擁護>
 - ・ 環境リサイクル事業の調査研究（雨水の活用） <穴生>
 - (新)・ ボランティア・市民活動センターのあり方検討 <活動推進課>
 - (新)・ 高齢者見守りサポーター利用意向調査 <地域福祉課>
- (2) ニーズ調査
 - ・ 各区心配ごと相談所の相談内容の集約と分析 <振興課>
 - ・ 小地域福祉活動の調査研究分析（北九州市立大学都市政策研究所地域づくり研究会への参画9回） <地域福祉課>
 - (新)・ マンションにおける生活支援に関する調査（3回） <地域福祉課>
 - (新)・ 福祉有償送迎に関するアンケート調査（利用者100人、活動者100人） <活動推進課>
 - ・ 高齢者の生涯学習、地域活動参加に関するアンケート調査（13回） <周望、穴生>
 - ・ 年長者研修大学校施設利用アンケート調査（1回） <周望>
- (3) 実態調査
 - ・ 「ふれあいネットワーク事業」中間報告、実績報告による実態調査 <地域福祉課>

- ・ ボランティアグループ実態調査
(回答 598 団体、報告書 1,000 部) <活動推進課>
- ・ 送迎ボランティア調査 (年 2 回、921 人) <活動推進課>
- ・ 年長者研修大学校修了後の地域活動参加に関する追跡調査
(3 回) <周望、穴生>

5 地域福祉活動計画の推進

(1) 計画の普及

- ・ 出前講演活動等各種事業を通じた第三次計画の普及
(112 回、6,008 人) <地域福祉課>

(2) 進捗状況の評価・点検と見直し

- (新)・ 総合企画委員会による「地域福祉活動計画第三次計画」実施計画の中間年見直し (総合企画委員会 5 回) <地域福祉課>
- (新)・ 後期実施計画の策定 <地域福祉課>
- (新)・ 後期実施計画に関する市長からの意見募集 (ホームページ、広報誌、各関係団体 意見提出者 43 人、提出意見 86 件) <地域福祉課>

(3) 校(地)区単位の活動計画づくりの普及

- ・ 校(地)区社協活動者交流会での校(地)区単位の活動計画の普及 (再掲)
<地域福祉課>

基本目標Ⅳ 一人ひとりの安全で安心な暮らしを守ろう

認知症高齢者の増加や障害者自立支援法の制定などを背景として、親族以外の第三者後見人の担い手不足が問題となっているなか、権利擁護センターにおいては、社会貢献型「市民後見人」養成研修修了生を担い手とした法人後見事業に取り組むため、「法人後見のあり方」について検討を進めてきました。

高齢者の社会参加・自立支援としては、高齢者地域交流支援通所事業での介護予防・自立支援の強化や、年長者研修大学校修了生等による地域交流活動の実施など、高齢者が地域で生きがいをもって生活するための機会づくりを進めてきました。

また、介護サービスの質の向上のため、介護保険事業所への介護サービス相談員派遣事業の拡充など、市民の生活を支援のための取り組みも進めました。

目標達成のための取り組み

1 権利の擁護と福祉サービス利用援助

(1) 地域福祉権利擁護事業の充実

＜権利擁護センター＞

- ・ 運営監視・審査会および契約締結審査部会の開催
(運営監視審査会 4 回 / 新規承認ケースの進捗状況確認 98 件)
(契約締結部会 12 回 / 審査 106 件)
- ・ 生活支援専門員、生活支援員資質の向上のための研修会及び事例検討会の実施
(合同研修会 1 回、21 日間、延べ 315 人)
(事例検討会 5 回、47 人)
(研修への参加 8 回、22 人)
- ・ 利用援助事業の充実
(相談事業 475 件、441 人)
(調査 885 回、調整活動 4,331 回)
(契約 91 人、131 件)
- ・ 福祉サービス利用援助を中心とした生活支援サービス内容の充実
(財産保全 73 回、金銭管理 3,629 回、生活支援 4,058 回)

(新) 就労する障害者の地域福祉権利擁護事業の利用支援のあり方についての検討

(再掲)

- ・ 「地域福祉権利擁護事業支援員サービスマニュアル」の改訂
- ・ 「地域福祉権利擁護事業専門員マニュアル」の作成

(新)・ 社会貢献型「市民後見人」養成研修の実施(再掲)

- (2) 成年後見センターとの連携 ＜権利擁護＞
- ・ 地域福祉権利擁護事業から成年後見制度への移行に関する検討と支援
(成年後見制度の利用を検討した件数 8件)
(成年後見制度に移行した件数 6件)
- (新)・ 「権利擁護・市民後見センター」における法人後見のあり方の検討
- 法人後見の体制開始に向けての整備
(先進都市への視察 1回、アンケート調査 2回)
- 関係機関との協議
(市との協議 12回、家庭裁判所との協議 3回、福岡労働局との協議 1回)
- 監視委員会・運用委員会の設置準備
- 権利擁護・市民後見センター運営に関わる規約等の整備
- 社会貢献型「市民後見人」養成研修修了生の受入れ体制の整備
- ・ 「権利擁護センター」と「北九州成年後見センター」の実務的な連携と役割分担の整理
(成年後見センターからの受け入れ相談 5件)
(成年後見センターへ繋いだ相談 19件)
(役割分担協議 6回)
 - ・ 成年後見センター運営への参画
(理事会への参画 12回、業務管理委員会への参画 5回)
- (3) 他機関・団体とも連携した、子ども・高齢者・障害のある人などの生活権保障
(犯罪被害防止など)の取り組み
- ・ 出前講演活動を活用した地域福祉権利擁護事業の紹介
(16回、523人) ＜地域福祉課＞
 - ・ 各種会議への参画(12種会議、32回) ＜地域福祉課＞
 - ・ 年長者研修大学校等における権利擁護事業の理解の促進と福祉サービス等情報の提供(再掲) ＜権利擁護＞
 - ・ 事業説明会への職員派遣(7回、373人) ＜権利擁護＞
 - ・ 他都市からの視察の受入(6回、19人) ＜権利擁護＞
 - ・ 年長者研修大学校研修生に対する福祉サービス理解のための情報提供
(45回、952人) ＜周望・穴生＞

2 相談・苦情への対応と情報提供

- (1) 心配ごと相談所の運営
- ・ 各区心配ごと相談所への支援(相談総件数 1,657件=解決 887件、
他機関 571件、その他 129件) ＜振興課＞
- (2) 介護サービス相談事業の充実

- ・ 北九州市介護サービス相談員派遣事業の拡充
(41 事業所拡大し合計 128 事業所に派遣、新規相談員養成 73 人、
延べ相談員派遣回数 1,855 件、延べ相談人数 20,177 件) <生活福祉課>
- (3) 福祉関連の就業に関する相談・情報把握
- ・ 求人相談 1,884 件、求職相談 4,888 件 <人材バンク>
 - ・ 「就職バックアップセミナー」の実施 (1 回、10 人) (再掲)
<人材バンク>
 - ・ 緊急雇用対策 福祉 介護分野への就業促進 特別相談窓口の開設 (再掲)
<人材バンク>
 - ・ 緊急雇用対策 「介護限定、特別求人・求職面談会」開催 (市共催)
(1 回 求人件数 109 件 参加者 94 人 採用者数 7 人) (再掲) <人材バンク>
 - ・ 緊急雇用対策 「再就職のための介護資格取得支援事業」 <人材バンク>
(1 回 受講者 20 人) (再掲) <人材バンク>
- (4) 苦情への対応
- ・ 広報紙やホームページへの定期的な掲載による苦情解決方法の市民への周知
徹底 <総務課>
- (5) 市民への情報提供
- ・ ふれあいネットワーク事業を活用した認知症サポーター養成講座の展開
(再掲) <地域福祉課>
 - ・ 年長者研修大学校研修生に対する福祉サービスを正しく理解するための情
報提供 (45 回 997 人) <周望・穴生>

3 社会参加・自立の支援

- (1) 健康と福祉のまちづくり事業の推進
- ・ 市民の健康づくり支援として健康ウォーキング・ニュースポーツ出前体験事
業の実施 (再掲) <穴生ドーム>
- (2) 高齢者の社会参加・自立の支援
- ・ 高齢者地域交流支援通所事業 (地域交流型デイサービス) における介護予防・
自立支援の強化 (市民センター49 ヲ所で週 2 回実施、実施日数 4,746 日、
延べ利用者数 55,982 人) <生活福祉課>
 - ・ ふれあいネットワーク事業を通じた情報提供 (再掲) <地域福祉課>
 - ・ 在宅高齢者送迎サービス事業の実施 (再掲)
(ボランティア登録数 921 人 利用者登録数 629 人) <活動推進課>
 - ・ 腕自慢おまかせサービス事業の実施 (再掲)
(ボランティア登録数 249 人、実施件数 113 件) <活動推進課>

- ・ 市民の健康づくり支援として健康ウォーキング、ニュースポーツで出前体験事業の実施（再掲） <周望・穴生>
 - ・ 高齢者の生涯学習に対する意識啓発と受講機会の拡大を図るための大学活用型校外授業（シニアカレッジ）の実施（40回、2,277人） <周望・穴生>
 - ・ 高齢者による交通安全啓発と通学路における子どもの見守り活動
(161回、718人) <周望>
 - ・ 高齢者の社会参加活動支援（ボランティア、クラブ、同好会、同窓会等）のための場の提供（72グループ、16,065人） <周望・穴生>
 - ・ 団塊世代及びヤングシニアの社会参加を支援する各種講座の実施（再掲）
(16回、337人) <周望・穴生>
 - ・ 高齢者が高齢者を支援する「ふれあいいきいきサロン」事業の実施
(22回、1,674人) <穴生>
 - ・ 高齢者の健康・体力づくり事業及び「健康プログラム」による運動処方箋の提供（101回、3,222人） <周望、ドーム>
 - ・ 老人クラブ連合会との連携による研修事業の充実
(3コース、9回、618人) <周望>
- (3) 家族介護者の支援の充実
- ・ 高齢者の家族介護者リフレッシュサポート事業（キリン福祉財団主催）への協力（1泊2日の研修旅行への参加者の推薦、参加者3人） <生活福祉課>
 - ・ 高齢者見守りサポーター派遣事業
(サポーター49人、派遣回数延べ668回) <生活福祉課>
- (4) 障害児（者）の社会参加・自立の支援
- ・ 生活福祉資金貸付制度等の運用
(貸付件数・金額：3件、2,710千円) <振興課>
 - ・ 小規模共同作業所との連携による収益事業（まちづくりクッキー）を通じた社会参加・自立の促進 <振興課・地域福祉課>
 - ・ ふれあいネットワーク事業を通じた情報提供（再掲） <地域福祉課>
 - ・ 校(地)区社協を中心とした福祉救援体制づくりにおける障害のある人の参加
(再掲) <地域福祉課>
- (5) 母子・父子世帯の社会参加・自立の支援
- ・ 生活福祉資金貸付制度等の運用(再掲)
(貸付件数・金額：3件、3,480千円) <振興課>
 - ・ ふれあいネットワーク事業を通じた情報提供（再掲） <地域福祉課>
- (6) 低所得世帯の自立の支援
- ・ 生活福祉資金貸付制度等の運用(再掲)
(貸付件数・金額：33件、11,325千円) <振興課>

(7) ホームレスの自立の支援

＜ホームレス自立支援センター＞

- ・ ホームレス自立支援センターの入所促進（入所者数 92 人）
- ・ 市内ホームレスに対する巡回相談による自立支援（116 件）
- ・ ホームレス自立支援センター入所者への総合的なサポートの実施
- ・ ホームレス自立支援推進協議会の開催（協議会 5 回、幹事会 5 回）

推進の基盤づくり

北九州市の行財制改革に伴い、本会においても事務事業の見直しや、新たな人事・給与制度の導入、経費の削減などに取り組みました。

また、本年は本会が管理運営する「ウエルとばた」と「年長者研修大学校及び穴生ドーム」の指定管理への応募の結果、継続管理が決定し今後の運営に「社協らしさ」が期待されているところです。

本会としては、今後も市民に頼られる社会福祉協議会となるよう、市民活動への支援を中心にした事業の展開を進め、社協活動の基盤強化に努めていきます。

1 校（地）区社会福祉協議会

- ・ 校(地)区社協新任役員研修の実施（1回、85人） <地域福祉課>
- ・ 「ふれあいネットワーク事業」実績報告等による活動点検の実施 <地域福祉課>

2 区社会福祉協議会

- ・ 市社協正副会長・区社協会長合同会議の開催（3回開催） <総務課>
- ・ 幹部会の開催（12回開催） <総務課>
- ・ 区民生委員児童委員協議会の事務受託 <振興課>
- ・ 校(地)区社協活動支援のための市・区社協共同事業の実施 <地域福祉課>

3 市社会福祉協議会

- ・ 役員会の開催（理事会3回、評議員会3回、監事会1回、部長会1回） <総務課>
- ・ 地域福祉活動計画第三次計画の中間年見直し（再掲） <地域福祉課>
- ・ 財団等助成金の活用促進（厚生労働省社会福祉推進費補助金、全社協地域協働わくわく子育てフォーラム助成事業の活用） <地域福祉課>
- (新)・ 電話対応コンクールへの参加 <総務課>
- ・ 所属長会議の開催（1回） <総務課>
- ・ 職員連絡会議の開催による情報の共有（6回開催） <総務課>
- ・ 研修の実施による職員の能力開発（新任研修1回、管理職研修2回、現任研修3回、全社協主催研修への派遣2人） <総務課>
- ・ 安全衛生委員会の開催 <総務課>
- ・ メンタルヘルス研修会の開催（7月31日、14人） <総務課>
- ・ ワークライフバランス講演会の開催（8月28日、23人） <総務課>
- (新)・ 正規職員、主任嘱託職員の採用 <総務課>

- (新)・ 新たな人事・給与制度の導入 <総務課>
- ・ 指定管理運營業務の受託に向けた取り組み
(年長者研修大学校・穴生ドーム・ウエルとばたの指定管理業務受託)
- ・ 「ウエルとばた」を活用した収益事業の実施
(「火垂るの墓」上映 2回、312人) <施設部>
- ・ 「ウエルとばた」におけるにぎわいの創出事業の実施
(春・夏・秋・冬のまつり 年4回、3,860人)
(ウエルカムコンサート 年12回、1,720人) <施設部>
- ・ ウエルとばたテナントの募集 <施設部>
- ・ ウエルとばた温暖化対策事業の実施 <施設部>
- ・ ウエルとばた入居者に対するAED講習会の実施 <施設部>
- ・ 市民会館まつり
(初夏のをどり 戸畑市民会館大ホール 800人)
(新春歌まつり 戸畑市民会館大ホール 800人) <施設部>
- ・ 総合企画委員会による活動点検及び方向性の検討
(委員会5回開催) <地域福祉課>
- ・ 会員制度の周知徹底 <総務部>
- ・ プチボTシャツ・エプロンの販売
(Tシャツ475枚、エプロン166枚) <地域福祉課>

常設委員会の実施

市社協が実施する事業を適正に遂行するよう、各種常設委員会にて協議を行っていきます。

- ・ 生活福祉資金貸付調査委員会 (5回) <振興課>
- ・ 民間社会福祉施設整備資金貸付審査委員会 (開催なし) <振興課>
- ・ 民間社会福祉事業従事者共済制度運営委員会 (1回) <振興課>
- ・ 独立行政法人福祉医療機構助成金推薦審査委員会 (1回) <振興課>
- ・ 総合企画委員会 (5回) <地域福祉課>
- ・ 地域福祉権利擁護事業運営監視・審査会 (4回) <権利擁護>
- ・ 地域福祉権利擁護事業契約締結審査部会 (12回) <権利擁護>
- ・ 福祉人材バンク事業運営委員会 (1回) <人材バンク>
- ・ ボランティア・市民活動センター運営委員会 (4回) <活動推進課・研修課>
- ・ 年長者研修大学校運営委員会 (開催なし) <周望・穴生>
- ・ 北九州穴生ドーム運営委員会 (2回) <穴生ドーム>

